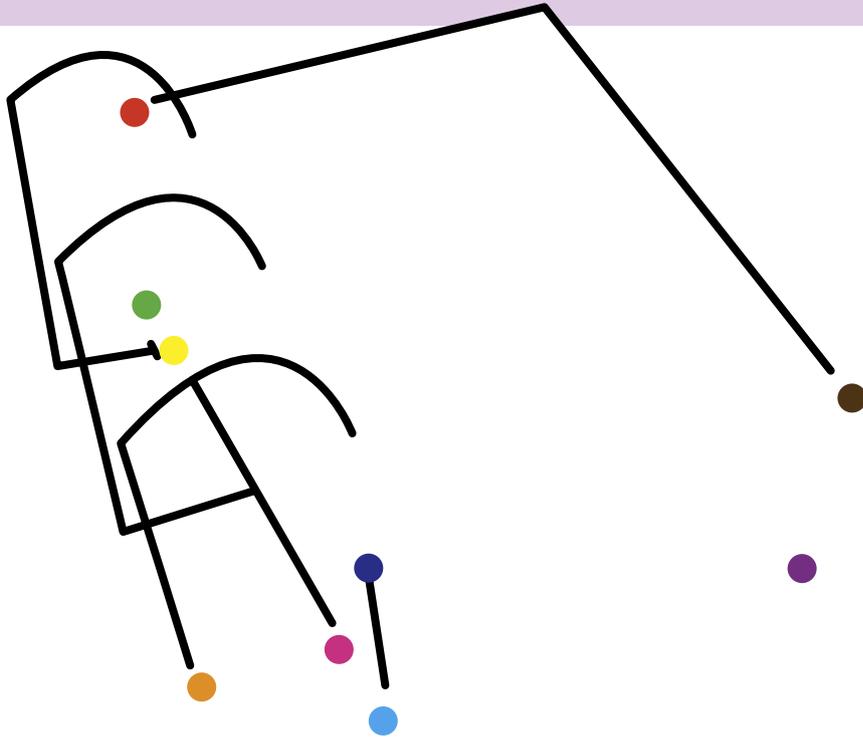


せいぶん
聖文をつなごう

ニーファイと真鍮のはんの話^{しんちゆう}を、あなたはどれくらいよく知っているでしょうか。下の文^{したぶん}に、物語^{ものがたり}の中で起こった順序^{なかつ}で番号^{ばんごう}を付けましょう。それから、同じ色^{おなじいろ}の点^{てん}を見つけて、そこに番号^{ばんごう}をふります。番号順^{ばんごうじゆん}に点^{てん}から点^{てん}へ線^{せん}を引き、絵^えを完成^{かんせい}させましょう。(助け^{たすけ}が必要な場合^{ひつようばあい}は1ニーファイ3章^{しょう}と4章^{しょう}を見てください。)



- 1 ● リーハイがニーファイと兄^{あに}たちに、ラバンからはんを手^てに入れるようにい^いう。
- ラバンが、真鍮^{しんちゆう}のはんはレーマンにわたさ^いないとい^いう。
- レーマンがラバンに、はんをゆず^{もと}ってくれるよう求^{もと}める。
- ゴーラムが、ニーファイの家族^{かぞく}と一緒^{いっしょ}にあれ野^のへ行くこと^のを選^{まら}ぶ。
- ラバンが金^{きん}を自分^{じぶん}のものにし、それでも真鍮^{しんちゆう}のはんをわた^いそうとし^いない。
- ニーファイと兄^{あに}たちとゴーラムが、はんを持^もってリーハイとサラリアのもとにもど^{もど}る。
- ニーファイと兄^{あに}たちが、はんを手^てに入れるため^{ため}にラバンに金^{きん}を差^さし出^だす。
- 主^{しゆ}がニーファイに、ラバンをころ^{ころ}してはんを手^てに入れるよう命^{めい}じら^られる。
- せいれいがニーファイをラバンの家^{いえ}にみち^{みち}びか^かれる。